

(仮称)大玉スマートインターチェンジ整備促進協議会主催講演会

大玉村の好循環をつくり 次世代に継ぐ

縮退の時代に生き残るための新しいまちづくり実践論

令和8年7月25日 田 14:30~16:15

会場:大玉村農村環境改善センター(大玉村玉井字西庵183)

PROGRAM 01 14:30-14:45

行政報告 | 大玉ゲートウェイ構想の事業進捗について / 大玉村役場 産業建設部 都市計画課

PROGRAM 02 14:45-16:15

主催者挨拶 | (仮称)大玉スマートインターチェンジ整備促進協議会
会長 / 大玉村長 押山 利一

講演 | 村の好循環をつくり、次世代に継ぐ
縮退の時代に生き残るための新しいまちづくり実践論

講師 | 西村 浩 建築家/クリエイティブディレクター 株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役



大玉村の美しい風景を守り、豊かな未来をつくっていくために、いま、何をすべきか? 村の皆さんとともに考えたいと思います。

西村 浩

1967年佐賀県生まれ。東京大学工学部土木工学科卒業、東京大学大学院工学系研究科修士課程修了後、1999年ワークヴィジョンズ設立。土木出身ながら建築の世界で独立し、現在は建築・リノベーション・土木分野のデザインに加えて、全国各地の都市再生戦略の立案からまちづくりのディレクションまで、「まち」と「そこで暮らす人々」の豊かで楽しい日常づくりを実践。

喜多方市「南町2850プロジェクト」では、空き地を地元の高校生と住民が協力して公園に作り替えた活動が高く評価され、都市景観大賞(景観まちづくり活動・教育部門)で大賞(国土交通大臣賞)を受賞。石川町では廃校になった小学校の校舎をリノベーションした文教福祉複合施設「モトガッコ」で第37回福島県建築文化賞の「特別部門賞」、日本デザイン振興会の「グッドデザイン賞」を受賞。自身の出身地である佐賀市では、昭和期に衣料品店やスーパー、個店などでにぎわっていたものの、シャッター通りとなってしまった長崎街道の呉服元町を、自らも建築家・当事者として人気のエリアに変えたことにより、当該エリアは地価が上昇。土地活用モデル大賞「国土交通大臣賞」を受賞したほか、日本建築学会賞、土木学会賞を受賞するなど、分野を超えて活動している。

どなたもご参加できます。お誘いあわせの上、ぜひ足をお運びください。

お問合せ | 大玉村役場 都市計画課 スマート IC 推進係

☎ : 0243-24-8144